



平成28年9月30日

各位

会社名 株式会社 リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村 義一
(コード番号: 4591 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 宮崎 正 是
TEL. 03-3440-3303

国立研究開発法人日本医療研究開発機構による 創薬基盤推進研究事業への採択についてのお知らせ

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) が公募した創薬基盤推進研究事業に、当社が代表となり、東京大学医科学研究所 (RNA 医科学社会連携研究部門) との共同研究として申請した事業が採択されました。

今回 AMED が公募した創薬基盤推進研究事業は、製薬企業に創薬関連技術提供を行うベンチャー企業に対して、独自の創薬関連技術を高度化・汎用化するための支援を行い、革新的な医薬品の創出につなげることを目的としたものです。

この目的に基づく当社提案の採択が、本日 AMED ホームページにおいて公表されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今回採択されたのは「GPCR を標的とする RNA アプタマー創薬基盤技術の開発」です。本プロジェクトは、アプタマー創薬に関する当社の技術、知見を生かして、GPCR (G タンパク質共役受容体) をターゲットとする RNA アプタマー医薬開発の基盤技術を確立することを目指すものです。

GPCR は7回膜貫通型の受容体で医薬品の主要な標的ですが、細胞膜に埋もれた複雑な構造をとっているため、活性を維持した状態で単離することが難しく、分子標的薬、特に抗体医薬の開発が難しい標的ですが、人体には数百種類の GPCR があることが知られていますが、これまでに医薬品化された低分子化合物を除いては、未だ手つかずの GPCR が極めて多数存在します。

本事業では、当社が中心となり培ったアプタマー創製技術 (RiboART システム) を利用し、GPCR を標的とした新しいアプタマー創製基盤を確立し、医薬品として利用可能な薬理効果と物性を有するアプタマーを開発することを目的としております。GPCR は多くの製薬企業にとって魅力的な創薬標的であるため、本事業の成功は、日本の医薬品開発能力向上に大きく貢献できると期待しています。

本事業の期間は、平成 28 年度からの最大 3 年間となります。平成 28 年度に受け取る委託研究開発費は税込 35 百万円 (予定) であります。

今回の採択案件につきましては、AMED ホームページをご参照ください。

http://www.amed.go.jp/koubo/010120160714_kettei.html

なお、本採択による平成 29 年 3 月期業績への影響については、現在、精査中であり、業績に大きな影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上